

令和3年 第1回新車部会運営委員会議事録

日時:令和3年3月11日 木曜日 11:00~

場所:熊本県自動車会館 3階特別会議室

参加者:西 治三朗 担当理事

齊藤 賢司 運営委員長

松本 圭介 副運営委員長 若杉 浩治 副運営委員長

吉村 仁志 委員 井嶋 陽二 委員 山口 一紀 委員 松田 将史 委員

桃山 英之 委員(代理)

事務局:松本伸二 専務理事 羽田野晃央 事務局長

○ 西担当理事 挨拶

昨日、熊本県がゼロカーボンシティへの取り組みを宣言。CO₂排出ガスの削減に取り組むことが発表されました。2030年までに電動車へ切り替えガソリン車の廃止などが検討されるとの事。我々も、自動車業界に係るものとして、是非取り組んでみたい。先ずは、スタディチームを立ち上げ、何ができるか、知見を広げるところからスタートしたい。1月の理事会にて、報告・承認も得ている。この委員会メンバーの方を軸に活動していくので、ご理解の上、よろしくお願いしたい。

○齊藤運営委員長 議事進行

第1回の新車部会運営委員会を進めて参ります。

議題1、1)2021年重点取り組み(案)について、事務局より報告

松本専務理事 説明

令和3年の重点取り組み項目として、例年通りご覧の通り6つの項目に取り組む。

1)経営の効率化・付加価値向上の検討

①登録諸費用の事前回収の促進によるキャッシュフローの向上

②保険新規付保率の向上による基盤収益を構築

③新車登録の平準化を図り業務効率を改善する

④新車新規 OSS申請件数の引き上げ

今年は特に、新車新規 OSS申請件数の引き上げを重点項目とする。熊本県の実績は22%前後で推移。(横バイ) 今年の目標40%に設定。各社、よろしくお願いします。

2)企業倫理・法令遵守の徹底

研修会に参加しガバナンス・コンプライ違反の撲滅

①交通部会との合同による新入社員研修

道路運送車両法&交通安全の基礎周知徹底を図る

運輸支局及び県警から講師をお願いして実施する

3)新車ディーラー合同キャンペーンの開催

7月頃には新車・中古車合同のキャンペーンも計画する

4)部会活動の充実を図り連携を強化

5)安心・安全対策への取り組み

①サポカ一体感試乗会の実施(今年は再開したい)

6)社会貢献 カーボンニュートラルへの取り組み

①スタディチームの立ち上げ

質疑応答

Q:昨年、合同キャンペーンのアンケートを実施。サマリーのフィードバックがまだなので、是非、展開してほしい (齊藤運営委員長)

次回部会にて発表。

○カーボンニュートラル・スタディチーム発足について(補足)

チーム名:「カーボンニュートラル・スタディチーム」

体制 : 新車部会運営委員をメンバーとする

進め方 :先ずは、各メーカー、損保、行政の取組み、考え方を学び、知見を広げる。

来年、何か具体的なことが見えれば、理事会に答申をはかり、具体的な行動に移す。

地域貢献に関しては、個別のメーカー、販社単位ではなく、「業界団体」として取り組む。

そうすることで、「業界」の魅力向上にもつながっていくと思う。先ずは、事務局メンバーを中心に活動をスタートし、進めていく中で皆さんにいろいろお願ひすることが出てくると思う。ご協力、お願ひします。

最後に、「カーボンゼロの解説 VTR」を視聴し、運営委員会は終了した。

令和3年 第1回新車部会議事録

日時:令和3年3月11日 木曜日 12:00~

場所:熊本県自動車会館 4階 第1会議室

参加者:西 治三朗 担当理事

齊藤 賢司 部会長

松本 圭介 副部会長 若杉 浩治 副部会長

吉村 仁志 委員 井嶋 陽二 委員 山口 一紀 委員 松田 将史 委員

桃山 英之 委員(代理)

会員:中川 大 松野 栄司 川端 真也 宮田 健 坂本 孝 森 秀昭

小田 利幸 米村 正成 弓削 貴裕 宮川 修一 杉本 英明

事務局:松本伸二 専務理事 羽田野晃央 事務局長

○西担当理事 挨拶

まずは3月のお忙しい折、新車部会にお集まりいただきありがとうございます。早いもので本日3月11日は東日本地震から10年を迎える。5年前は熊本地震があり、この事は風化しないよう、しっかりと留めておきたい。昨年から始まった新型コロナウイルスについては、熊本県でも、クラスターが発生。変異株もあり、ワクチンの接種で無事収束していくか、心配である。今後も感染防止のガイドラインを遵守して進めていきたい。

今日は部会の第1回目ということで、本年度の重点取り組みについて事務局から、説明をお願いします。また、今年は新規の事業を立ち上げます。背景として、熊本県でも「ゼロカーボンシティ」への取り組みが宣言され、CO₂排出ガスの削減に取り組むことが発表されました。自動車業界としても是非、取り組んでいきたい。2030年までに、ガソリン車を廃止、販売する全てのクルマを電動車化することなどを検討。我々、自販連でも新車部会でもプロジェクトチームを立ち上げ進めていく。まずは、従来の取り組みに加えて、知見を広げることから始めたい。みなさん、よろしくお願いします。

○齊藤部会長 議事進行

それでは第1回の新車部会を進めて参ります。

議題1、1)2021年重点取り組み(案)について、事務局より報告

令和3年の重点取り組み項目として、例年通りご覧の通り5つの項目と、今年は新しく1項目追加して取り組む

1) 経営の効率化・付加価値向上の検討

- ① 登録諸費用の事前回収の促進によるキャッシュフローの向上
- ② 保険新規付保率の向上による基盤収益を構築
- ③ 新車登録の平準化を図り業務効率を改善する

④ 新車新規 OSS 申請件数の引き上げ

今年は新車新規 OSS 申請件数の引き上げを重点項目とする。

熊本県22%前後で推移。全国60%。目標40%とし、好事例などを展開していく

2) 企業倫理・法令順守の徹底

研修会に参加しガバナンス・コンプラ違反の撲滅

① 交通部会との合同による新入社員研修

道路運送車両法&交通安全の基礎周知徹底を図る

運輸支局及び県警から講師を招いて講習会を実施

② 規約遵守の訪問調査実施(秋頃)

3) 新車ディーラー合同キャンペーンの実施

売り上げの一部を支援金として贈呈(継続)

4) 部会活動の充実を図り連携を強化

新車運営委員会 部会 それぞれ 5回実施予定

他部会との合同実施(12月)情報交換

5) 安心・安全対策への取り組み

① サポカ一体感試乗会の実施 (熊本県警・交通部会との連携)

6) 社会貢献 カーボンニュートラルへの取り組み

熊本県自動車販売店協会として何が出来るか、スタディチームを立ち上げ進める。

※昨年の合同キャンペーンについてアンケートを取ったので、展開 次回部会で報告

補足) カーボンニュートラル・スタディチーム発足について

カーボンニュートラルを進めていく上で、自動車業界がCO2削減に占めるウエイトは、かなり大きいと言える。とは言え、業界として何をやっていくかは具体的によくわからないので、今年1年、いろいろ勉強していきたい。

組織名 熊本県自動車販売店 カーボンニュートラル・スタディチーム

体制 新車部会運営委員を推進メンバーとして立ち上げ

進め方 今年1年は知見広げていく。そして、来年に向かって具体的に取り組む事を見つける。地域貢献に関しては個別のメーカーごとではなく業界として取り組む

議題3. OSS の取り組みについて

新車新規 OSS 集計 2021年は目標 40% 新車新規 1月 熊本県 22.8%

継続OSS 1月 熊本県 81.0%

新規OSS: 全国は既に 60%越え。今年は70%を目標に取り組み中。

2023年 車検証のデジタル化などもあり、避けては通れないこと。今後、好事例の展開や、現場でのネックについて情報を収集し、壁を取り除いていきたい。

議題4. 一般社団法人 日本自動車連盟熊本支部 実績報告

* 資料参照

議題5. 連絡事項

① 車庫代行センターへの当日持ち込みについて

ルールでは、車庫はセンター便を利用して翌日申請分を提出。

どうしても当日、申請したいのであれば 12 時までに、上長の許可を取り
代行センターご連絡ください。センターとしても何とか対応はしたい。

最後に、カーボンゼロについての「わかりやすいビデオ」を視聴。

これにて、第1回新車部会は終了。